

# もりふれ倶楽部通信 NO. 18



## ハゼノキと木ろう(ハゼろう)

もりふれ倶楽部理事長 横原 道夫

ここふるさと森林公園の紅葉もいま真っ盛り、年々紅・黄葉の見ごろが遅くなり、温暖化の影響が自然の変化にもろに現れる感じが強くします。

9月の半ば頃、ヤマハゼ、ハゼノキ、ヤマウルシなどのウルシ科ウルシ属が真っ先に、鮮やかな紅葉を見せ始めて錦の秋が始まりました。そしていま、秋の終焉をニレ科やブナ科やカエデ科等々の多くの落葉樹の紅・黄・茶葉の彩が山々を飾っています。この里山の紅葉に欠かせないウルシ属の樹木は、ウルシオール(ウルシ塗料の主成分)という樹皮を傷つけると分泌される乳液の成分で「ウルシかぶれ」のアレルゲンになる物質を持ち、特異体質の人は木に近づくだけで皮膚炎を引き起こしますので、残念ながら、恐い木と毛嫌いされる植物の代表にもなっています。

しかし、ウルシでもハゼノキでも中国～東南アジア原産で、その用途に応じて日本各地に植栽され、そこに根付き野生化して全国各地に広がっています。その用途とは、一つは塗料のウルシ(漆)であり、もう一つは灯明に使われローソクの成分の採取です。今回ハゼノキの実から「木ろう」のローソク(蠟燭)造りの実習がありますので、木ろうについて少し聞きかじりを述べてみます。

ろう(蠟：wax)とは、一般的に脂肪酸とアルコールのエステル(脱水結合)化したものを指します。今日の多くのローソクはパラフィンで出来た洋ローソクですが、鯨ろう、蜜ろうなどの和ローソクろうはこれに属します。

一方ハゼノキの実の果皮からしぼり採られる「木ろう」は、化学的にはパルミチン酸という脂肪酸とグリセリンとのエステルです。いわゆる脂肪で食すれば消化(加水分解)される物質で、一般のろうとは少し違っています。(ろうの方が不活性で、酸化や加水

分解などに対して比較的安定な物質です)

現在、仏壇や神棚の灯明のローソクは、工業的に生産される洋ローソクが主体ですが、以前は家内工業的に生産される和ローソクの「木ろうローソク」や「蜜ろうローソク」が普通でした。仏壇の灯明が風もないのに ゆらめき、一瞬ぱっと明るくなったり、ぱちぱちとはぜる感じになったり、仏間の神秘性と靈魂の降臨の推測を子ども心に植えつけられた灯明のローソクはこの「木ろうローソク」でした。

ところで、動・植物の身体になぜ、ろうなるものがあるのでしょうか。ツバキの葉の表面の光沢のあるクチクラ層の成分は ろう物質ですし、私たちの体の表面を覆う皮膚もろう物質をたくさん含んでいます。生理的役割は水をはじくことで、外からの水の浸入と内部からの水の漏出を防止することです。厳しく変化する陸上の環境変化、中でも湿潤・乾燥などを防ぎ体温保持のコントロール、細菌などの侵入を防ぐ等 環境に対するバリヤとして、生命の維持そのものに重要な役割を持っているのです。高等な動・植物が、陸上と言う変化の激しい環境条件の中で、素晴らしい進化を遂げることが出来た大きな理由が、体表を取巻く皮膚や表皮にこの ろう物質が分泌されるようになったお蔭であるといっても言い過ぎではないと私は思っています。

類似の次の4種はなかなか区別がむづかしいところがありますが、かぶれない程度のところで観察下さい。

ハゼノキ：落葉高木 10mぐらいに成る。奇数羽状複葉、小葉は全縁で枝や葉に全く毛がない。雌雄異株、果実は平たい円形で滑らか、つやがある。

ヤマハゼ：3~5mぐらいの落葉小高木。奇数羽状複葉、小葉は全縁、枝や葉に毛がある(ハゼノキと区別される) 雌雄異株、果実は無毛で滑らかで少しゆがんでいる。

ヤマウルシ：3m内外の落葉小高木。奇数羽状複葉、若枝や葉柄は赤色を帯びる。小葉は全縁(樹が若いときには荒い鋸歯がでることもある)で卵型に近く、ハゼ、ヤマハゼより幅が少し広い。雌雄異株、果実は硬い毛を密生する(他のものとの区別点)。

ウルシ：栽培される落葉高木。奇数羽状複葉、小葉は少し大型で卵型、雌雄異株、果実はゆがんだ平たい球形で表面は滑らか。



# 平成20年度 もりふれ倶楽部の歩み

## 10月10日 山口県阿東町林業振興会視察対応

山口県阿東町林業振興会15名が、ふるさと森林公園を視察におとずれました。もりふれ倶楽部では、北部ヒノキ林で、間伐と島根県で取り組まれている「水と緑のもりづくり」の話を、野鳥の森ツリーハウス周辺で、もりふれ倶楽部の森林ボランティア活動の話をさせていただき、交流の時をもたせていただきました。

事務局対応

## 10月11日 森の音楽会

(社)島根県緑化推進委員会とともに、ふるさと森林公園で、森の音楽会を開催しました。

ジャズとクラシックのコンサートに約70名の参加者が集まり、13,889円の緑化募金が集まりました。

司会 福岡茂明、松本尚子 参加ミュージシャン なかうみ交響楽団の仲間達他

## 10月12日 第7回里山自然塾

～秋の里山でキノコを探そう～

3班に分かれて、園内を散策しながらキノコを採集し、採ってきたきたキノコを班毎に図鑑を広げ名前を調べていきました。その後、講師からチェックをしてもらい、キノコの見分け方や間違いやすいキノコについて話を聞きました。また、食べられると判定されたキノコを、キノコ汁で楽しみました。

講師 長岡久二郎、平佐隆文 スタッフ 槇原道夫、岡田邦博、中村正志



## 10月12～13日 島根県森づくりプロデューサー等レベルアップ研修

島根県より委託を受けて、島根県森づくりプロデューサー、島根県森林インストラクターレベル研修を実施しました。内容は、夜の自然観察会指導、棒焼きパンづくり指導、地区毎の事業プロデュース方法等、多岐にわたりました。

講師 龍 善暢 三瓶自然館副館長他

## 10月16日 島根県立松江出雲農林高校対応

ふるさと森林公園に来館された、島根県立出雲農林高校1年生40名に対して、ネイチャートレイルング体験の指導を実施しました。

事務局対応

## 10月16日 松江市市民大学環境講座対応

ふるさと森林公園学習展示館に来館された松江市市民大学環境講座50名に対して、園内遊歩道における「森の食探し散策」と「ヒノキの皮の染めものづくり」の指導を実施しました。

また、里山保全の大切さの講義も行いました。

指導 槇原道夫、野田真幹





### 10月17日～18日 里山生活塾

ふるさと森林公園において、「里山生活塾2008秋の巻」を開催しました。定年退職後、森を守りたいとの思いを持ち、「山を購入された方もご夫婦でご参加され、仮払い機安全使用の基礎を、草刈・灌木刈りの実習、食べられる植物の学習と野草茶づくり、間伐に関する学習とヒノキの和紙づくり、ネイチャートレイリング体験等を研修されました。

事務局対応

### 10月19日 第4回里山自然塾サポーターズクラブスキルアップ研修

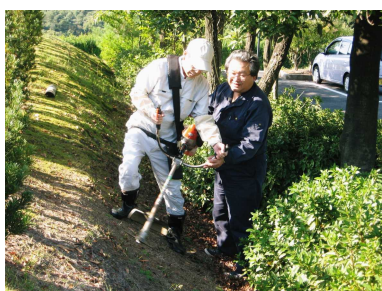
～自然観察をテーマとして～

毎回複数の分野別専門ボランティアにより取り組まれている鳥取県立大山自然歴史館の自然観察に参加、午後は、スキルアップ研修参加者がお互いに学び合いながらの自然観察会をおこないました。

### 10月23日 安来市立赤屋保育園対応

安来市立赤屋保育園において、園児と保護者、先生、約30名に対して、木切れ工作指導を通して森の大切さの普及啓発活動を実施しました。

指導 野田あや子



### 10月25日～26日 中・四国森林未来経営塾

島根県県民の森研修館にて、島根県、(社)全国林業改良普及協会、NPO法人もりふれ倶楽部の主催で開催しました。内容は、林業に希望を見いだす講演会、シンポジウム、森林セラピー体験、丸太プランコづくり等で、奈良県からのUターン希望者、定年退職を機に、山を購入して森林経営をはじめられた鳥取県のご夫婦等、約30名が参加されました。

講師 立石 幸 飯石森林組合長、栗栖 誠 氏、井ノ上 二郎 統括林業普及員  
西 満広 氏、玉野 英敬 氏

### 10月26日 JAくにびき主催フェスティバル対応

JAくにびき主催農林水産祭「ござっ祭」にて、ヒノキの和紙づくり体験を通して、間伐の大切さの普及啓発活動を実施しました。悪天候にもかかわらず約100名の方が体験されました。

事務局対応

### 11月1日 里山ものづくり体験

ふるさと森林公園学習展示館来館者の希望者に対して、里山ものづくりたいけんとして、「ドングリ工作」を指導しました。

指導 岡田邦博 ボランティア 竹下健二、野田あや子



### 11月2日 自然観察会

ふるさと森林公園において、自然観察会を実施しました。自然観察会の写真は、学習展示館に毎月、展示しています。

指導 中村正志 ボランティア 島大生2名

### 11月2日 森林公園ボランティア活動・遊歩道整備

ふるさと森林公園ボランティア活動として、遊歩道整備を実施しました。

会員参加メンバー 榎原道夫、岡田邦博、中村正志、福岡茂明、松本尚子、野田真幹、宮崎徳子

### 11月3日 斐川子ども応援団てんとう虫対応

「斐川子ども応援団てんとう虫主催で焼く200名の子供たちが、どんぐりのなる広葉樹を植樹する予定の場所で、第1回の地ごしらえを、てんとう虫のメンバーと協働で実施しました。また、作業終了後、子供たちにとって、有意義な森とするため、もりふれ倶楽部メンバーで、残す木の選定作業を実施しました。

スタッフ 原成実、榎原道夫、岡田邦博、中村正志、野田真幹



### 11月8日～9日 森林未来経営塾

島根県県民の森において、「森林未来経営塾林業技術 最終回」を実施しました。県内外から集められた森林所有者の方を中心に、チェンソーによる木材の伐倒、安全な掛かり木処理、枝払い、玉切り、集材を島根県の藤原専門林業普及員、奥田機材の奥田哲司氏の両講師の指導で、実習を中心にじっくりと研修されました。また、研修終了後、オプションで、県有林管理スタッフの園山調整監が紅葉の名所を案内されました。

講師 藤原 芳樹 専門林業普及員、奥田 哲司 氏

### 11月9日 第8回里山自然塾

～紅葉の森の散策と、葉っぱの絵本づくり～

ふるさと森林公園内において、公園内を散策しながら、紅葉と人との関わりを学び、色とりどりの葉っぱを組み合わせて、絵本作りをしました。

講師 福岡茂明、中村正志

### 11月9日 東出雲町立出雲郷小学校対応

東出雲町立出雲郷小学校のPTA主催イベントで、親子50名に対して、「木切れ工作」の指導を通して、森の大切さの普及啓発活動を行ないました。

指導 野田あや子





#### 11月11日 社会福祉法人まつえ友愛会対応

ふるさと森林公園学習展示館を来館された社会福祉法人まつえ友愛会の利用者7名、職員2名、ボランティア2名に対して、ヒノキの皮の紙漉体験の指導を行ないました。

事務局対応

#### 11月12日 出雲市神門地区社会福祉協議会対応

ふるさと森林公園を来園された出雲市神門地区社会福祉協議会30名に対して、園内散策（足に障害のある方はマイクロバス使用）のコーディネートとヒノキの皮での和紙づくり体験指導をしました。

事務局対応

#### 11月14日 社会福祉法人まつえ友愛会対応

ふるさと森林公園学習展示館を来館された社会福祉法人まつえ友愛会の利用者6名、職員3名、ボランティア2名に対して、ヒノキの皮の紙漉体験の指導を行ないました。

事務局対応

#### 11月15日 東出雲町・安来市住民交流会対応

「斐伊川水系水源の森づくり」森林整備協定「東出雲町・安来市住民交流会」において、『身近な木材（間伐材）の利用』というテーマで講演を行ないました。

講師 野田真幹



#### 11月16日 県民の森ふれあい講座

県民の森ふれあい講座「森林作業体験（枝打ち）」において、参加者に対して、安全带・背負い式枝打ち機等を使った枝打ち体験の指導を行いました。

指導 遠藤正志、野田真幹

#### 11月16日 宍道湖西岸森と自然財団主催小学生対象イベント対応

ふるさと森林公園において、宍道湖西岸森と自然財団主催小学生対象イベントにおいて、ネイチャートレイリング体験、葉っぱで絵づくり、ヒノキの和紙づくりの指導を行いました。

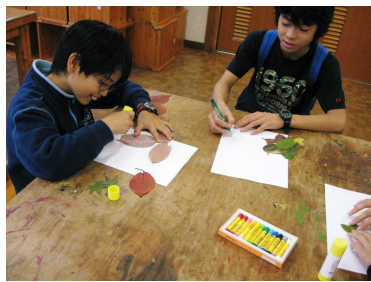
事務局対応

#### 11月17日 島根県立大学特別講師

島根県立大学の「NPOの活動」講座～井上定彦教授担当の中で、事務局長の野田が、特別講師として、もりふれ倶楽部の活動紹介を中心に1コマの講義を実施しました。

講師 野田真幹





### 11月20日 社会福祉法人まつえ友愛会対応

ふるさと森林公園学習展示館を来館された社会福祉法人まつえ友愛会の利用者7名、職員3名、ボランティア3名に対して、ヒノキの皮の紙漉体験の指導を行いました。 事務局対応

### 11月22日 「まちサポ」いずも対応

出雲市民ボランティアウィーク10周年記念イベント『「まちサポ」いずも』において、親子連れ約80名に木切れ工作体験を実施しました。

指導 松本尚子、宮崎徳子

### 12月1日 出雲市神門地区児童クラブ対応

ふるさと森林公園に来園した、出雲市神門地区児童クラブ40名に対して、園内遊歩道の自然散策とスギ板ペイントの指導を行いました。

指導 榎原道夫、野田真幹、宮崎徳子、小林玲子



### 12月6日 「島根に恋して2008～地域からの贈り物～」対応

ふるさと定住財団主催の「島根に恋して2008～地域からの贈りもの～」において、もりふれ倶楽部の活動紹介と、コケ玉作り体験指導を実施しました。

指導 伊原千里、宮崎徳子

### 12月6日 うんなん元気っ子わくわく教室対応

「うんなん元気っ子わくわく教室」の取り組みの中で、雲南市の食の杜の古民家において、子供たちにクリスマス灯明づくりの指導をしました。 指導 岡田邦博

### 12月7日 第9回里山自然塾

～里山素材のリースを作ろう～

ふるさと森林公園において、里山に自生するツル植物や木の実などを散策しながら採集し、榎原氏から植物について解説を受け、その植物や事前に用意されたヒノキの葉や実を使ってリース作りをしました。クリスマスに向けて素敵なリースができあがりました。

講師 影山和美、榎原道夫 ボランティア 北村弘吉



# もりふれ倶楽部、今後の予定

12月21日(日) 9時30分～11時30分

森林インストラクター中村正志と歩くふるさと森林公園自然観察会  
13時～15時 年末を気持ちよくボランティアでしましょ！  
公園ボランティア活動・野鳥の森の巣箱の掛け替え  
いずれも参加無料、参加者大募集中

1月10日(土) 1日限りの作業班・奥出雲上阿井福原・間伐 10時～15時

冬こそ、山仕事の醍醐味があります。新年の精神修練にも！  
参加無料、場所のわからない方は9時30分仁多合同庁舎駐車場集合

1月11日(日) 10時～15時 里山自然塾・七草 参加無料 参加者募集中

17時 とんどさん 参加無料 テニスコート広場  
19時～もりふれ倶楽部新年会 参加費5千円(宿泊込み)

1月12日(月・祝) 10時～15時 スキルアップ研修ハゼの実からろうそくづくり 参加無料  
里山自然塾サポーター登録が必要 登録無料当日出来ます。

1月17日(土) 1日限りの作業班・斐川町てんとうむしの森・地ごしらえ 10時～15時  
参加無料 荒神谷博物館近くの農道沿い、9時30分よりのぼりを立てます。

1月18日(日) スキルアップ研修 炭焼き・飾り炭づくり 参加無料

里山自然塾サポーター登録が必要 登録無料

1月23日14時～24日14時 里山生活塾 竹工房、飾り炭づくり他

参加費9,800円(3食、宿泊代込み)

1月25日(日) 9時30分～11時30分

真冬こそ自然との神秘的な出会いがあります。  
森林インストラクター中村正志と歩くふるさと森林公園自然観察会 参加無料

1月31日(土) 1日限りの作業班・斐川町てんとうむしの森・地ごしらえ 10時～15時  
参加無料 荒神谷博物館近くの農道沿い、9時30分よりのぼりを立てます。

2月1日(日) 10時～15時 里山自然塾・どんぐりを食べる 参加無料

以下時間等詳細は次号で紹介します。

2月11日(水・祝) しまね環境NPO3団体 益田シンポジウム 講師 田中賢治 他

2月21日(土) しまね環境NPO3団体ふるさと森林公園シンポジウム・体験コーナー開設  
講師 宮崎照 田中賢治 他

2月22日(日) 午前 自然観察会 午後 チェンソーメンテナンス研修

2月28日(土) てんとうむしの森植樹

3月1日(日) 里山自然塾 枝でミニチュアカントリー家具づくり

3月7日(土) 森林ボランティア 江津青少年の家 植樹

3月8日(日) 午前 自然観察会 午後 公園ボランティア

3月14日(土) 森林ボランティア ふるさと森林公園植樹

☆ 基本的に事前申込みが必要です。例え前日でも、電話・メール等でご一報ください。

☆ ボランティア活動の中には、会員に限り、交通費の補助、昼食を支給させていただくものもあります。詳細に関しては、もりふれ倶楽部 野田・宮崎まで、メールまたは電話でお問い合わせください。

※ 活動を支えてくださる会員を常に募集しています。入会金千円。年会費2千円です。

## もりふれ倶楽部会報 NO. 18

〒699-0406 松江市宍道町佐々布3352 ふるさと森林公園学習展示館内

もりふれ倶楽部

TEL(0852)66-3586

FAX(0852)66-3586

メール [morifure@coffee.ocn.ne.jp](mailto:morifure@coffee.ocn.ne.jp)

ホームページ <http://www.morifure.jp/>